### right()

文字列の右端から指定した長さ分だけ切り出して返します。指定した長さより文字列が短い場合は、文字列全体を返します。引数が null の場合は null を返し、文字列以外の値を受け取った場合は文字列に変換してから評価します。

#### 構文

right(EXPR, LENGTH)

**STR\_EXPR**

元となる文字列

**LENGTH**

入力した数値分、文字列の右端から文字を切り出して返します。指定した長さより文字列が短い場合は、文字列全体を返します。'0' 以上の定数のみ指定可能です。

#### 使用例

json "{}" | eval right=right("0123456789", 4) => "6789"json "{}" | eval right=right("0123456789", 11) => "0123456789"json "{}" | eval right=right("0123456789", 0) => ""json "{}" | eval right=right(1234, 2) => "34"json "{}" | eval right=right(1.23, 3) => ".23"json "{}" | eval right=right(null, 3) => null